

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2010年5月)

発表日2010年6月28日(月)

～単月では減少も、基調としては緩やかな増加傾向～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 岩田 陽之助
TEL : 03-5221-4525

(単位:%)

		商業販売額										コンビニ販売額		
		卸売業		小売業		大型小売店			百貨店			スーパー		
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店前年比	既存店前期比	既存店前年比	既存店前期比	前年比	既存店前年比
08	7-9月期	5.0	0.4	6.2	0.3	0.8	0.3	▲0.9	▲2.0	▲3.2	▲1.3	9.2	7.6	
	10-12月期	▲7.1	▲9.6	▲8.7	▲11.7	▲1.5	▲1.2	▲3.2	▲4.6	▲7.8	▲2.4	8.9	6.9	
09	1-3月期	▲20.6	▲12.1	▲25.2	▲15.4	▲3.9	▲1.6	▲5.6	▲7.2	▲11.1	▲4.6	6.3	4.2	
	4-6月期	▲23.4	▲3.5	▲28.9	▲4.5	▲2.8	▲0.1	▲4.9	▲6.6	▲10.8	▲4.1	3.4	5.2	
	7-9月期	▲22.8	▲0.6	▲28.3	▲1.0	▲1.9	0.9	▲5.5	▲7.0	▲9.8	▲5.4	▲3.5	6.2	
	10-12月期	▲14.9	▲0.2	▲19.3	▲0.4	▲0.7	▲0.1	▲6.4	▲7.0	▲8.8	▲5.8	▲3.1	7.2	
10	1-3月期	▲0.7	3.1	▲2.2	3.0	3.8	2.7	▲4.2	▲4.9	▲4.9	▲4.9	▲2.3	8.2	
08	8月	2.9	▲3.3	3.5	▲4.1	0.7	0.2	▲1.0	▲2.2	▲2.9	▲1.8	6.7	5.1	
	9月	3.3	▲2.8	4.2	▲3.5	▲0.3	0.0	▲2.1	▲3.3	▲4.6	▲2.6	7.5	6.4	
	10月	▲1.1	▲1.6	▲1.2	▲1.5	▲0.7	▲0.6	▲2.9	▲4.3	▲6.9	▲2.6	9.8	7.9	
	11月	▲8.6	▲4.8	▲10.7	▲6.3	▲0.9	▲0.2	▲1.7	▲3.1	▲6.3	▲0.7	9.1	7.2	
	12月	▲11.2	▲6.7	▲13.8	▲8.5	▲2.7	▲1.7	▲4.8	▲6.2	▲9.6	▲3.6	7.8	5.8	
09	1月	▲15.5	▲1.5	▲19.5	▲2.1	▲2.4	0.1	▲3.8	▲5.5	▲9.2	▲3.1	8.8	6.8	
	2月	▲21.5	▲3.9	▲25.7	▲4.7	▲5.7	▲0.3	▲6.6	▲8.1	▲11.4	▲6.1	4.0	2.0	
	3月	▲24.0	▲7.4	▲29.2	▲9.5	▲3.8	▲0.8	▲6.7	▲8.2	▲12.9	▲4.9	6.1	3.9	
	4月	▲22.4	4.0	▲27.8	5.4	▲2.8	0.5	▲5.0	▲6.7	▲11.3	▲3.9	6.5	4.0	
	5月	▲24.3	▲0.7	▲30.4	▲1.3	▲2.7	0.1	▲4.5	▲6.4	▲12.1	▲3.0	3.1	0.8	
	6月	▲23.3	▲1.3	▲28.7	▲1.3	▲2.9	▲0.1	▲5.2	▲6.8	▲9.1	▲5.4	0.9	▲1.7	
	7月	▲24.0	1.6	▲29.8	1.9	▲2.4	0.4	▲7.0	▲8.4	▲11.8	▲6.0	▲5.1	▲7.5	
	8月	▲22.4	▲1.5	▲28.0	▲2.2	▲1.8	0.5	▲5.0	▲6.8	▲8.9	▲5.7	▲3.0	▲5.6	
	9月	▲22.0	▲0.5	▲27.1	▲0.2	▲1.3	0.6	▲4.2	▲5.6	▲7.8	▲4.3	▲2.4	▲5.7	
	10月	▲19.2	0.6	▲24.2	0.6	▲1.0	▲0.6	▲6.4	▲7.2	▲10.6	▲5.2	▲2.9	▲5.6	
	11月	▲14.6	0.1	▲18.7	0.0	▲1.1	0.0	▲9.0	▲9.7	▲11.8	▲8.3	▲3.6	▲6.4	
	12月	▲10.9	▲0.1	▲14.6	▲0.5	▲0.2	▲0.3	▲4.2	▲4.6	▲5.1	▲4.3	▲2.8	▲5.7	
10	1月	▲3.8	6.4	▲6.1	7.7	2.3	2.0	▲5.1	▲5.7	▲5.7	▲5.7	▲2.5	▲5.5	
	2月	▲0.9	▲2.6	▲2.7	▲3.2	4.2	0.9	▲3.4	▲4.0	▲5.3	▲3.3	▲1.8	▲4.9	
	3月	2.4	▲4.0	1.5	▲5.9	4.7	0.8	▲4.1	▲4.9	▲3.6	▲5.6	▲2.4	▲5.1	
	4月	3.6	6.1	3.1	8.1	4.9	0.5	▲3.1	▲3.7	▲3.7	▲3.7	▲1.2	▲3.9	
	5月	1.3	▲3.1	0.7	▲3.6	2.8	▲2.0	▲3.4	▲4.0	▲2.1	▲5.1	▲0.8	▲3.7	

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○5月小売業販売額：前月比▲2.0%

経済産業省から本日公表された10年5月の小売業販売額は前年比+2.8%となり、事前の市場予想(前年比+4.8%、レンジ同+4.1%～同+5.4%)を下回った。季節調整値では、前月比▲2.0%であった。

今月販売額が減少した理由としては、①エコポイント対象変更に伴う家電販売の反動減、②月中旬以降の天候悪化、③欧州の財政不安による株価の下落、などが挙げられる。

内訳を見ると、全ての業種において前月比マイナスとなった。特に、機械器具小売業(前月比▲7.9%、寄与度▲0.5%)、自動車小売業(前月比▲5.9%、寄与度▲0.8%)などの減少幅が大きい。機械器具小売業については、3月にエコポイント対象変更に伴う駆け込み需要が発生した反動が続いていると考えられる。自動車販売についても、エコカー減税の効果が徐々に減衰していることを示唆する結果といえる。業界統計でも、自動車の販売数は頭打ち傾向にあることが確認出来、総合的な結果となっている。その他の業種について、飲食料品小売業(同▲1.1%、寄与度▲0.3%)、その他小売業(同▲0.7%、寄与度▲0.1%)など全

ての業種において販売額は減少した。

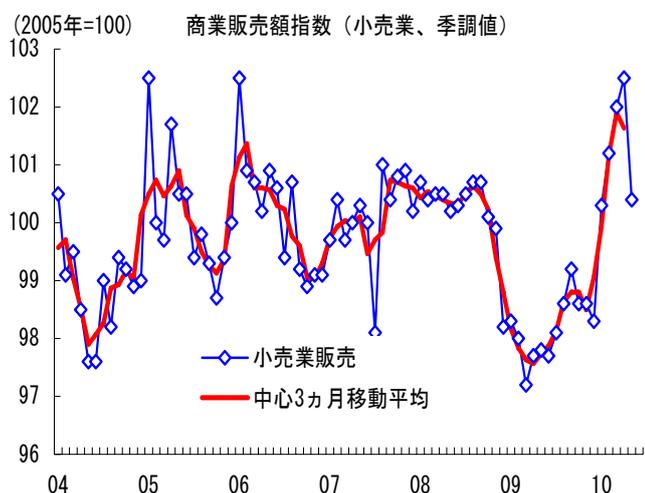
以上より、5月は前月比で大きく減少し、4、5月平均の1-3月期対比も+0.3%と小幅な増加に止まる結果となった。家電や自動車販売の減速に伴い、4-6月期の個人消費の伸びは鈍化する可能性が高い。

○政策関連以外の消費には徐々に明るさ

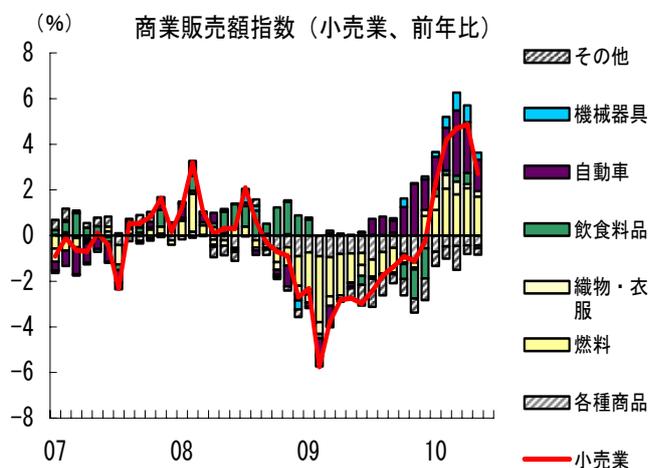
政策関連の品目は個人消費回復の足かせとなっているが、その他の品目については一頃に比べて落ち込みは和らいでいる。今月は飲食料品小売業やその他小売業など全ての業種が前月比でマイナスとなったが、これは月中旬以降の天候悪化によるところが大きい。むしろ、他の統計や各種報道を見る限り、天候が良かったゴールデンウィーク中などの消費は好調であったことを示すものが多い。連休の日並びが良かったことや期間中が好天に恵まれたことから外出する人が増え、衣料品などの消費が好調であったようだ。百貨店販売においては、5月は衣料品への支出が増加した事が示されており、整合的な結果となっている。雇用環境が最悪期を脱したことに伴って失職懸念が低下したことなどから、個人消費の回復には広がりが見えている。5月中旬以降の株価低下の影響を見定める必要はあるが、消費者マインド持ち直しなどに伴い個人消費の下振れリスクは小さくなっていると考えられる。

○先行きの個人消費は緩やかな回復傾向を維持

以上の通り、個人消費を取り巻く環境は徐々に明るさを取り戻しつつあり、先行きについても緩やかな増加傾向が続くと思われる。たしかに、足元で消費を牽引する経済対策効果が減衰していくと思われることは、懸念材料の一つとして挙げられようが、①雇用・所得環境の下げ止まりが明確になると予想されること、②各種家計支援策による下支え効果などによって個人消費は緩やかながら回復傾向を維持する公算だ。

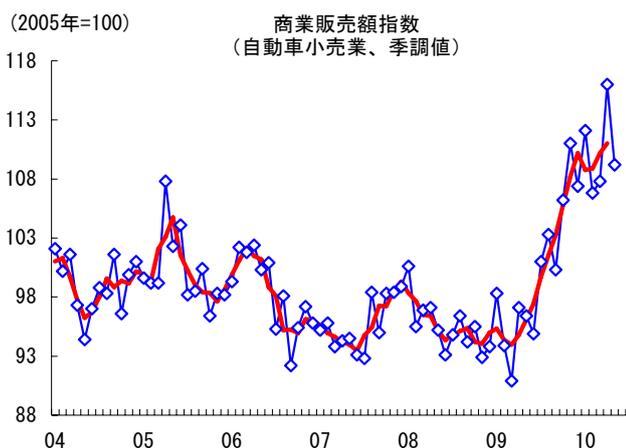


(出所) 経済産業省「商業販売統計」

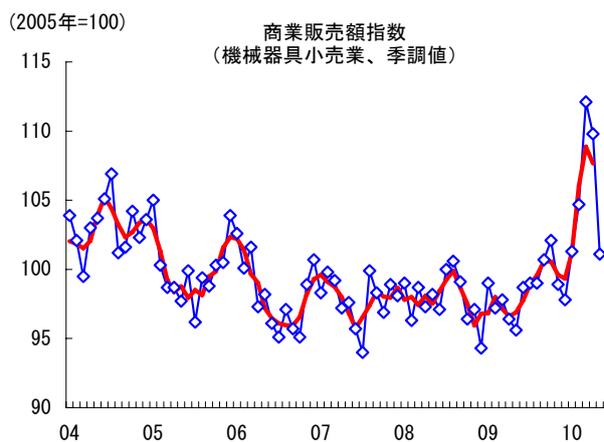


(出所) 経済産業省「商業販売統計」

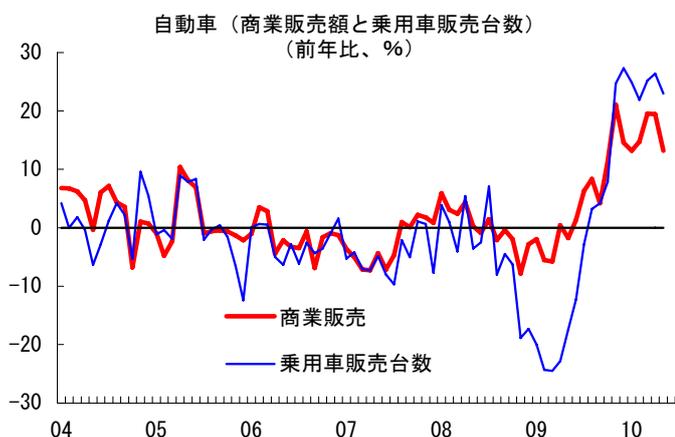
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」